

第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会 広報・機運醸成基本方針（案）

第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）の広報活動については、大会開催基本方針に基づき、大会の開催意義を広く県民に周知し、その理解を深めることにより、大会への参加意識の高揚を図り、県民総参加でつくる大会につながるのと同時に、島根県の魅力や大会の開催を全国に発信するため、次のとおり実施する。

1. 県、市町村、学校、企業、ボランティア、地域づくり NPO など多様な主体との連携・協働のもと、「オール島根で島根愛を醸成し、スポーツを通して豊かな人と地域を創る」ために、各種の広報媒体を戦略的かつ効果的に活用し、大会の積極的な広報に努める。
2. 準備期間を含めて、報道機関との連携や多様なメディアの活用により、大会に関する情報を迅速かつ広域に伝達するとともに、島根が誇る自然、歴史、文化・芸術等の多彩な魅力を全国に発信する。
3. 大会を象徴し、広く県民に愛されるような愛称・スローガン、マスコット等を制定し、その普及を図ることにより、大会開催の機運を高める。
4. 大会の記録映像、記録写真集等を制作し、その感動と興奮を永く記録にとどめるとともに、大会の開催成果を島根県の財産として未来へ継承する。

第 8 4 回国民スポーツ大会・第 2 9 回全国障害者スポーツ大会 広報・機運醸成基本計画（案）

第 8 4 回国民スポーツ大会・第 2 9 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）に向けて、大会広報・機運醸成基本方針に基づき、次の広報活動を積極的かつ効果的に推進する。

1 愛称・スローガン等による広報

大会を象徴する愛称・スローガン等を制定し、普及する。

- (1) 愛称・スローガンの制定及び普及
- (2) マスコットキャラクターの制定及び普及
- (3) イメージソング・ダンス等の制定及び普及

2 印刷物等による広報

各種印刷物の作成、既存の広報紙等の活用及び各種広報物品を作成し、積極的な広報活動を展開する。

- (1) 広報紙の発行
- (2) ポスター、パンフレット、リーフレット等の作成
- (3) 各種ガイドブックの作成
- (4) 広報グッズ等の作成

3 多様なメディアによる広報

報道機関との連携及びインターネットなど多様なメディアの活用により、迅速かつ広域的な広報活動の展開を図る。

- (1) 新聞、ラジオ、テレビ等による広報活動の推進
- (2) 県、市町村、各種団体等の広報媒体の活用
- (3) ホームページ、ソーシャルメディア等の活用

4 イベント等による広報

大会開催までの節目などにおいてイベントを開催するとともに、各種イベント等と連携した広報活動を実施する。

- (1) 開催内定イベント、開催決定イベント等の開催
- (2) 県、市町村、関係機関、団体、学校、企業、ボランティア、NPOにおいて実施する各種イベント等におけるPR活動等の実施

5 屋外広告物による広報

広告塔や横断幕等を設置して大会開催の広報に努める。

- (1) 広告塔、歓迎塔、歓迎アーチ等の設置
- (2) 横断幕、懸垂幕等の設置
- (3) 案内板、カウントダウンボード等の設置

6 記録映像等の制作

大会の成果を永く記録にとどめるため、記録映像等を制作する。

- (1) 大会記録映像（DVD等）の制作
- (2) 大会記録写真集の制作

7 参加章等の作成

大会の開催を記念し、大会参加章や記念章等を作成する。

- (1) 参加章、記念章等の作成
- (2) 記念グッズ等の作成

8 その他

その他、大会広報・機運醸成基本方針に基づき、効果的な広報を実施する。

広報活動イメージ（案）※先催県参考

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030				
年前	10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年				
開催状況					中央団体正 規視察	内定			正式決定		リハーサル大会				
大会機運															
1 愛称・スローガン等による広報	愛称 スローガンの 募集・決定		・ロゴの制作 ・デザインポリシー の策定		マスコットキャラクター・イメージソング・ダンス等の検討及び活用										
2 広告物による情報発信 (印刷物・グッズ等)					ポスター・パンフレット・リーフレット等の作成			大会広報誌の発行			広報グッズの作成 (クリアファイル、うちわ、カイロ、ポケットティッシュ、缶バッジ等)		ガイドブックの作成		
3 多様なメディアによる広報	県HPの活用		SNSを活用した情報発信				大会専用HP開設					新聞・ラジオ・テレビ等による広報			
4 イベント等による広報					開催内定イベント		開催決定イベント		1年前イベント		100日前イベント		関係団体等との連携イベント		
5 広告物による情報発信 (屋外広告物)								横断幕・懸垂幕		広告塔		歓迎塔等		カウントダウンボード等	
6 記録映像等の制作										記録映像・記録写真集					
7 参加章等の作成									参加章・記念章の作成			記念グッズ			

第84回全国スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会

第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会 愛称・スローガンの募集等について（案）

1 概要

第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会（以下、「大会」という。）における広報活動の一つとして、大会広報・機運醸成基本方針並びに大会広報・機運醸成基本計画に基づき、大会を象徴し、広く県民に愛されるような愛称・スローガンを制定する。

2 愛称・スローガンの募集

期間	令和 3 年 1 1 月上旬～令和 4 年 1 月上旬
作品	<p><u>愛称</u></p> <p>親しみやすく呼びやすい、島根県らしさあふれる言葉で表現された、大会の名称、呼び名。</p> <p>「島根〇〇国スポ・障スポ」「〇〇島根国スポ・障スポ」などのように「島根」「国スポ・障スポ」を必ず入れる。島根の文字は、ひらがな、カタカナ、ローマ字（SHIMANE）でも可。</p> <p>【前回：「くにびき国体」「ふれあい大会」】</p> <p><u>スローガン</u></p> <p>大会に向けた思いや開催基本方針で目指す大会を印象づける言葉・キャッチコピー。</p> <p>【前回：「このふれあいが未来をひらく」「手をつなぎ 心つないで わく力」】</p>
賞・賞金	<ul style="list-style-type: none"> 愛称・スローガン、それぞれ以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> 最優秀賞 1 作品 賞状、賞金 5 万円 優秀賞 3 作品 賞状、賞金 1 万円 受賞者が高校生以下の場合には、賞金に代えて賞金相当額の図書カードを贈呈する。 最優秀賞作品、優秀賞作品の応募者が複数ある場合は、別途定める抽選方法により、受賞者を決定する。
方法	<ul style="list-style-type: none"> 一般公募とし、応募資格はなし。 募集チラシにしているはがき、郵便はがき、FAX、インターネット等のいずれかの方法で応募する。 「愛称」「スローガン」のいずれか 1 作品の応募も可。また、1 人何作品でも応募可。 「愛称」、「スローガン」それぞれに説明や込めた思いを記載する。 募集・集計業務に関する業務委託先をプロポーザルにて決定する。

3 愛称・スローガンの選定

(1) 目的

大会の開催に向けて、広報活動を円滑に推進するため愛称・スローガン選定部会を設置する（別紙「審議事項 3-2」のとおり）。

(2) 委員構成

10名以内

4 制定スケジュール

広報・機運醸成専門委員会	事務局	愛称・スローガン選定部会
第1回専門委員会 (9/7)		
募集に係る業者選定・決定（プロポーザル）		
第2回常任委員会（10/12）において、 広報・機運醸成基本方針、広報・機運醸成基本計画を審議		
募集チラシ等の作成、周知開始 募集期間：令和3年11月上旬～令和4年1月上旬		
	(1) 第一次選定 ①応募作品を事務局で取りまとめ、各50作品程度選定	
(2) 第一次報告 ②各50作品程度報告		
		(3) 第二次選定(2月上旬) ③各委員により、各5点程度選定
	④類似商標調査 ⑤第二次選定作品を取りまとめ、「一覧表（各10作品程度）」作成	
		(4) 第三次選定(2月下旬) ⑥「一覧表（各10作品程度）」から最優秀賞1点、優秀賞3点を選定
(5) 第2回専門委員会(3月上旬) ⑦最優秀作品候補各1作品、優秀賞3点を報告		
第2回総会において、候補作品について審議（3月下旬） ⑧愛称・スローガンの決定		
ロゴデザインの制作・デザインポリシーの策定（令和4年度）		

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会広報・機運醸成専門委員会 愛称・スローガン選定部会設置要綱（案）

（趣旨）

第1条 この要綱は、第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会島根県開催準備委員会専門委員会規程第5条の規定より、広報・機運醸成専門委員会（以下「専門委員会」という。）の部会設置及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（部会の名称および付託事項）

第2条 部会の名称は、愛称・スローガン選定部会とし、愛称・スローガンの選定に関することを担当する。

（部会の役員）

第3条 部会に部会長を置く。

- 2 部会長は、専門委員会委員長が指名する。
- 3 部会長は、部会を代表し、会務を総理する。
- 4 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長が指名した部会委員がその職務を代理する。

（任期）

第4条 部会の委員（以下「委員」という。）の任期は、部会の目的が達成されたときまでとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、委員に指名された者が、その属する機関又は団体において指名されたときの役職を離れたときは、当該委員の任期は、当該役職にあった日までとする。
- 3 前項の規定により委員が欠けたときは、当該委員の属していた機関又は団体において当該委員の後任となった者を委員に指名するものとする。

（会議）

第5条 部会は、部会長が招集し、部会長が議長となる。

- 2 部会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 3 部会は、審議結果を専門員会に報告する。

（委任）

第6条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が専門委員会委員長の承認を得て別に定める。

附 則

この要項は、令和3年 月 日から施行する

先催県における愛称・スローガン（メッセージ）の制定状況

参考

開催県	令和5年（2023年） 鹿児島県	令和6年（2024年） 佐賀県	令和7年（2025年） 滋賀県	令和8年（2026年） 青森県	令和9年（2027年） 宮崎県
方法	公募	公募	公募	公募	公募
募集期間	H26.12.22～H27.2.23 6年前	H30.9.15～H30.10.31 6年前	H30.9.20～H30.11.12 7年前	H30.12.10～H31.1.25 8年前	R1.8.12～R1.9.30 8年前
賞金等	最優秀賞1点 5万円、記念品 優秀賞3点 1万円、記念品	愛称・スローガン (両作品併せて) 賞金30万円	最優秀賞 1点 賞金5万円 優秀賞 3点 賞金1万円	最優秀賞1点 賞金5万円 優秀賞3点 賞金1万円	最優秀賞1点 賞金5万円 優秀賞3点 賞金1万円
愛称	作品		わたSHIGA輝く国スポ・障スポ		
	応募総数	13,495点	1,254点	10,601点	7,147点
	趣旨等	世界有数の活火山である桜島や明治維新を成し遂げた偉人に象徴される熱く情熱的な鹿児島。アスリート達の熱気あふれるパフォーマンスや県民の心のこもったおもてなしが、熱く燃えるような感動を呼び起こす国体を目指します。	名称が国民スポーツ大会に変わり、佐賀大会が、スポーツ大会として初めての本大会になります。名前が変わるだけではなく、大会をより良いものに変えていきたいと考え、『スポーツだからできること』にスポーツを当てた、『新しい大会』を目指していきます。	選手、ボランティアをはじめ、県民、来県者など滋賀県で開催する両大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。	青い空、青い海や湖、青い山並など美しく自然に恵まれた青森県で、国スポに参加するすべての人々が、交流を深め、感動を創出し、いきいきと煌めくような大会を目指します。
スローガン	作品	熱い鼓動 風は南から	新しい大会へ。 <small>すべての人に、スポーツのチカラを。</small>	湖国の感動 未来へつなぐ	翔ける未来へ縄文の風に乗って
	応募総数	12,820点		10,209点	7,079点
	趣旨等	熱戦を繰り広げるアスリート達の熱い鼓動と会場に響きわたる歓声が、鹿児島から南の風に乗って全国に広がってほしいという思いが込められています。	新しく生まれ変わるスポーツ大会に相応しいデザインをイメージし、シンプルかつ率直に伝わるようなカタチにしました。	「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、両大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いをこめています。	縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いを込めています。

※佐賀県は、スローガンではなくメッセージを制定。従来のようなスローガンにとらわれず、時機やターゲットに応じて変えていくことも検討。